

【陳情】

受理番号	1	受理年月日	平成25年 3月13日
件名	住民の暮らしの移動需要を全関係課で把握し、対応する仕組み作りを求める陳情書		
【委員会の意見】 <p>本陳情は、コミュニティバス運行事業やデマンドタクシー運行について、市民ニーズの把握にあたっては、主管課の総合政策課だけではなく、福祉事務所や地域振興課、教育委員会など、地域の実情に詳しい関係部署が横断的に情報を提供し合い、とりまとめを総合政策課が行うよう求めるものです。併せて、デマンドタクシーの普及拡大を望む内容となっています。</p> <p>陳情者は、由布市市民交通対策検討委員会の公募メンバーとして、由布市の公共交通施策にも精通しており、これまで多くの提案を行政側に投げかけてきたが、取り組みが不十分であるとの意見でした。</p> <p>執行部に対し見解を求めたところ、市内公共交通施策全般を考慮しながら事業実施しており、陳情者の提案を含め可能な事業に取り組んできている。関係各課との連携についても可能な限り行っており、限られた財源の中で改善を図ってきたとの回答がありました。</p> <p>公共交通施策に対する両者の認識については大きな隔たりがあり、市民交通対策検討委員会での議論も不十分であるように感じられました。</p> <p>委員からは、陳情者と執行部との見解に相違があり判断が難しいとの意見や、デマンドタクシーの試験運行の結果分析や、社協が行っている市民ニーズの調査結果を待ちたいとの意見も出され、慎重に審査した結果、継続審査すべきものと決定しました。</p>			
審査結果	継続審査		